

## 車座会議報告書

産業厚生常任委員長 古野 司

今回は、2月18日に那賀町内の商工業者で組織されております商工会の役員の方々と意見交換を行わせていただきました。

商工会からは会長の山城さんをはじめ副会長の佐藤さんと谷崎さん、また6名の理事の方々のほか5名の事務局職員の方にもご出席をしていただくことができました。

会議では、株田議長と山城会長のごあいさつの後、吉田事務局長さん並びに経営指導員の武蔵さんから商工会事業の概要をご説明をいただき、商品券のほか地域内資金循環等新事業開発検討事業や小規模事業者地域力活用新事業など様々な事業に取り組んでおり、地域に根付いた商店として活発に活動されていることが紹介されました。特に最近では買い物弱者対策として、商品の宅配サービスや出前商店街と名付けた移動販売にも取り組まれており、高齢者らの買い物の不便の解消に努力されておりますことに改めて敬意と感謝を申し上げます。

商工会からの説明が終わり、4班に分かれたグループでの意見交換が行われ、そのテーマとして、一つ目に商工業を取り巻く現状と課題について、またその課題に対してどう取り組んでいくのか。二つ目に町行政や議会に対して求めることは何か。この二つを今回のテーマとして話し合っていました。各班から沢山のご意見をいただくことができましたのでその一部をご紹介します。

まず、人口減少や近隣市への大型店舗の進出により売上げが減少しているため、人口減少に歯止めをかけるためにも定住施策に力を注いで欲しい。敬老会に贈呈している商品券を継続し、町内で利用できる施策がもっと必要である。また、創業希望者に対する支援策を考えてみてはどうかといった提案のほか、今の商品券では設備業や建設業者にはメリットを感じられない。町内工事の下請けも厳しいものがあるので、分離発注など町内業者を優先にしてもらえないかといったご意見もいただくことができました。

議会といたしましては、商工業者の方々の貴重なご意見や切実な願いをお聞きすることができましたので、今後の議会活動に活かしてまいりたいと考えております。商工会役員の方々には大変お忙しい中ご参加をいただき改めて厚くお礼申し上げます。

私たち議会は、今後も引き続き各種団体の方との意見交換会を実施したいと考えておりますので、意見交換を希望される団体の皆さんは、遠慮なくお近くの議員または議会事務局までお申し付けください。ご連絡をお待ちいたしております。

